

2022 年卒学生の職業意識とインターンシップに関する調査

キャリアス就活 2022 会員 2020 年 6 月調査

キャリアス就活 2022 登録学生（2022 年 3 月卒業予定者）を対象に、インターンシップの参加意向や就職に関する意識などを調査・分析した。新型コロナウイルスの影響を受け、強い危機感を持つ学生の姿が明らかになった。

《目次》

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. インターンシップ等の参加意向 | 6. 参加企業を探す手段 |
| 2. インターンシップ等の参加方針 | 7. 現時点で興味のある仕事・業界 |
| 3. オンラインインターンシップの参加意向 | 8. 興味を持ったきっかけ |
| 4. 参加したいプログラム | 9. コロナ禍の就活に対する不安 |
| 5. 参加予定時期 | 10. 就職戦線の見方 |

《調査概要》

調査対象 : キャリアス就活 2022 会員
(2022 年 3 月卒業予定の全国の大学 3 年生・大学院修士課程 1 年生)

調査時期 : 2020 年 6 月 19 日 ~ 6 月 25 日

調査方法 : インターネット調査法

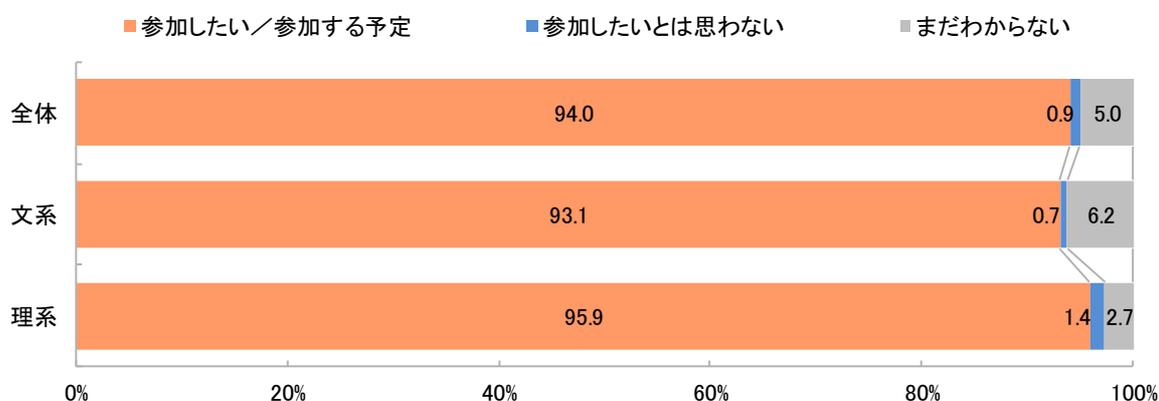
回答者数 : 1090 人 (文系 723 人、理系・学部生 266 人、理系・大学院生 101 人)

調査機関 : 株式会社ディスコ キャリアスリサーチ

1. インターンシップ等の参加意向

大学 3 年生（修士 1 年生）の 6 月下旬時点での、インターンシップや仕事研究プログラム等への参加意向を尋ねた。「参加したい／参加する予定」が 9 割を超え（94.0%）、参加意欲の高さが顕著に表れている。

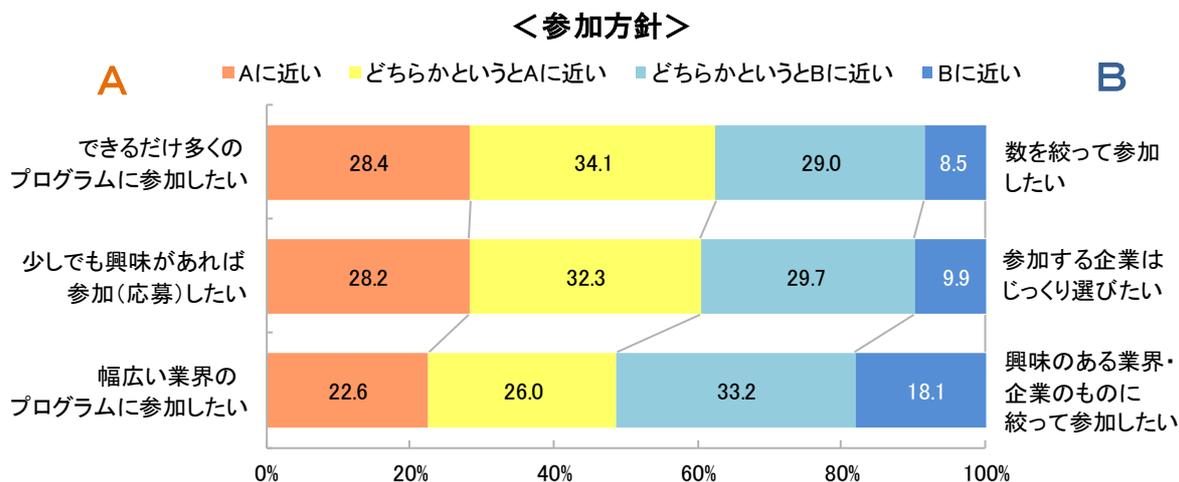
＜インターンシップ等の参加意向＞



インターンシップ : 就業体験を伴う複数日程のもの
 1Day 仕事研究プログラム : 就業体験を伴う 1 日以内のもの
 業界研究・会社研究プログラム : 就業体験を伴わない複数日程のもの
 1Day 業界研究・会社研究プログラム : 就業体験を伴わない 1 日以内のもの

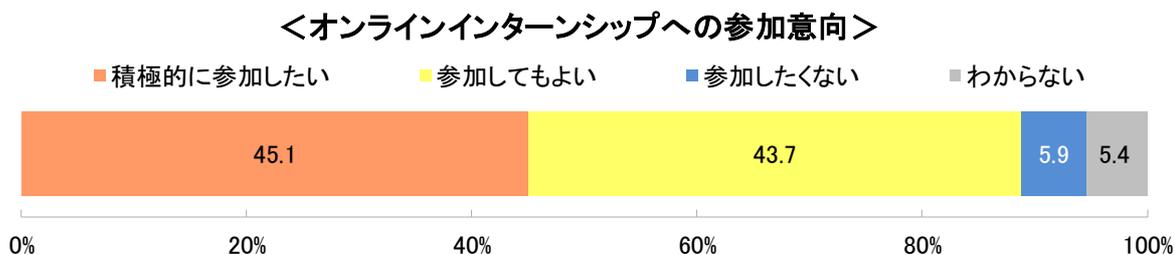
2. インターンシップ等の参加方針

インターンシップ等に参加意向がある学生(全体の94.0%)に、参加方針について3つの指標で尋ねた。まず、「できるだけ多くのプログラムに参加したい」が6割を超え(計62.5%)、「数を絞って参加したい」(計37.5%)を大幅に上回った。また、「少しでも興味があれば参加したい」が約6割(計60.5%)に対し、「参加する企業はじっくり選びたい」は計39.5%で、積極的な姿勢がうかがえる。



3. オンラインインターンシップの参加意向

今年はオンラインでの実施増が予想されるが、学生に参加意向を尋ねたところ、「積極的に参加したい」が4割強に上った(45.1%)。「参加してもよい」(43.7%)と合わせると9割近くに上り(計88.8%)、大多数がオンラインでのプログラムに肯定的。「参加したくない」は5.9%にとどまる。



■ オンラインインターンに「参加したい」

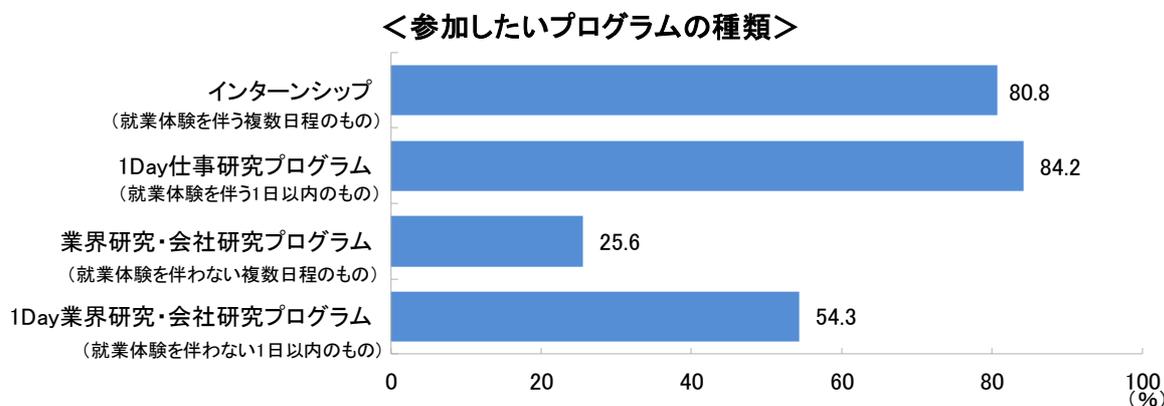
- 大学が地方にあるのでなかなか動けないが、オンラインだと参加しやすい。 <理系女子>
- 新型コロナウイルスに感染したくないから。 <文系女子>
- オンラインかどうかは関係なく、インターンシップであれば積極的に参加するつもりのため。 <文系男子>
- 時間とお金を節約でき、多くの企業のものに参加できるため。 <文系男子>
- 就活におけるオンライン化が進んでいることもあり、環境に慣れるようにするため。 <理系男子>

■ オンラインインターンに「参加したくない」

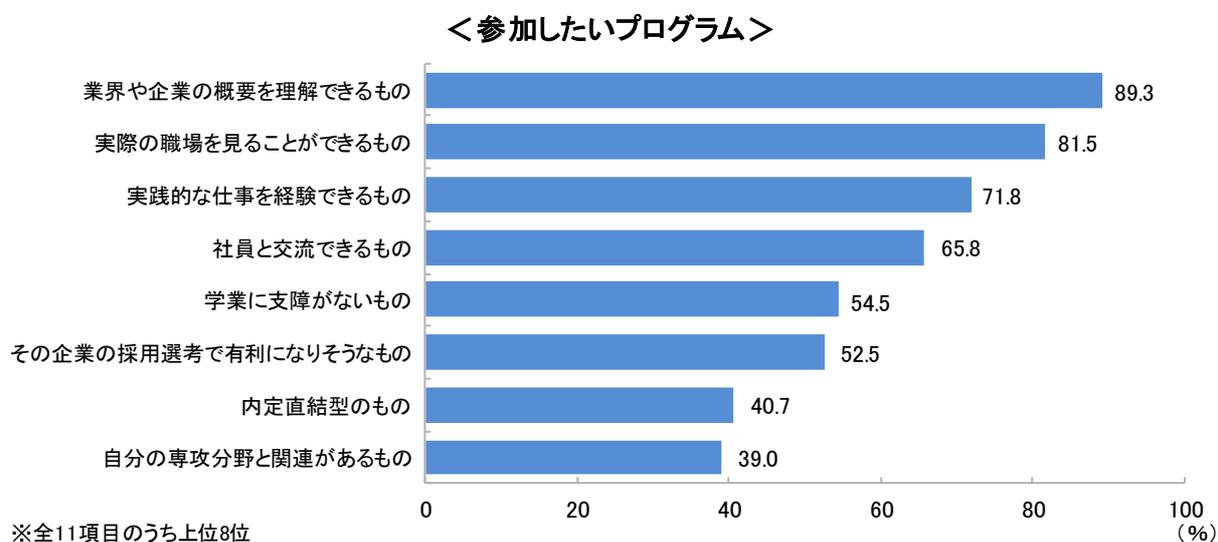
- 説明会はオンラインの方が気楽で良いが、インターンシップのような発言が求められるものは、家族に聞かれたりするのが嫌だから。 <文系女子>
- 現場を自分の目で見ながら体験した方が、より深く業界研究、企業研究ができるから。 <理系男子>

4. 参加したいプログラム

続いて、参加したいプログラムの種類を尋ねた。「インターンシップ」「1Day 仕事研究プログラム」がともに8割を超え、就業体験を伴うプログラムを希望する学生が大半だ。就業体験を伴わないプログラムは、1日以内のもので約5割（54.3%）、複数日程のものでは25.6%にとどまる。



具体的なプログラムとしては、「業界や企業の概要を理解できるもの」が最も多く、9割近くに上る（89.3%）。次いで「実際の職場を見ることができるもの」が約8割で続く（81.5%）。「学業に支障がないもの」は、半数を超える学生が選んでおり（54.5%）、長期休暇中や休日に開催するなど、学業の妨げにならない配慮が求められる。

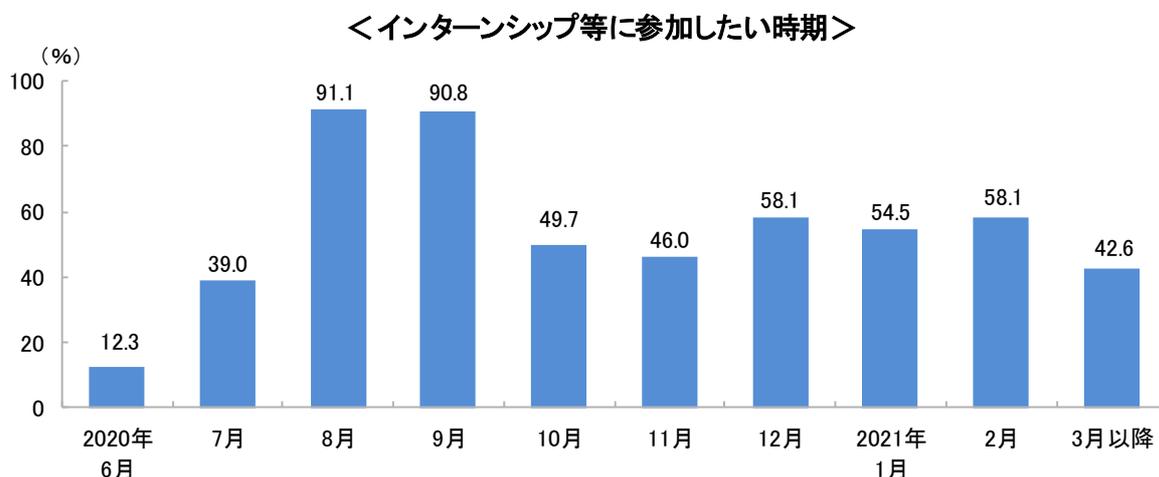


■ インターンシップで期待する成果

- 企業ホームページや就活サイトからでは感じ取れない社内の雰囲気や、業務内容に対するイメージと現実のすり合わせができると思います。 <文系男子>
- ビジネスモデルを学べて、業界内でのその企業の特徴や武器は何か知ること。社風や雰囲気を感じること。 <理系男子>
- 自分がその職種や社風に合っているかを判断できること、自分に足りないものに気づくこと。 <理系女子>
- 社員の方と直接関わることで、自分が成長できること。 <文系男子>

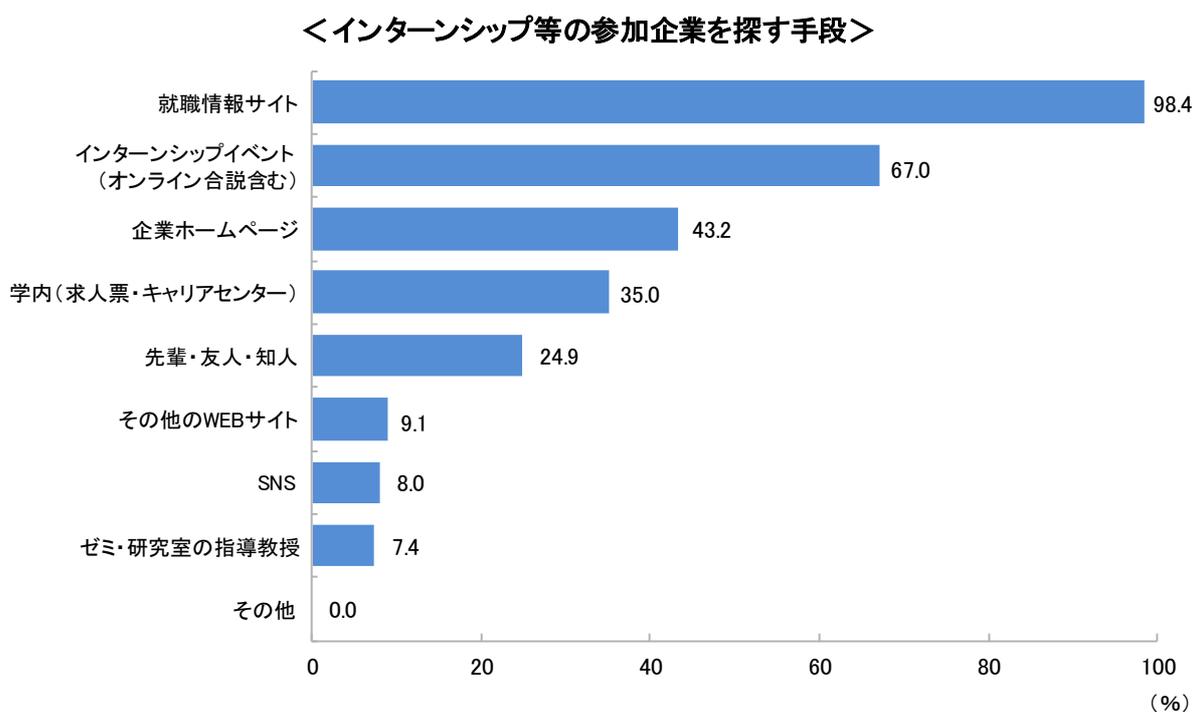
5. 参加予定時期

インターンシップ等のプログラムに参加したい時期を尋ねたところ、「8月」「9月」に集中しており(91.1%、90.8%)、現時点では、夏季休暇中の参加に焦点をあてている学生が多いようだ。ただし、「12月」～「2月」が5割を超えるなど、早くも冬の参加を考えている学生も少なくない。



6. 参加企業を探す手段

参加企業を探す手段について、今後の予定を含めて尋ねたところ、「就職情報サイト」が突出して多かった(98.4%)。続く「インターンシップイベント(オンライン合説含む)」は7割近くが選んだ(67.0%)。3番目に多いのは「企業ホームページ」(43.2%)で、オンラインを中心に、様々な手段を活用し情報収集をしている様子がうかがえる。

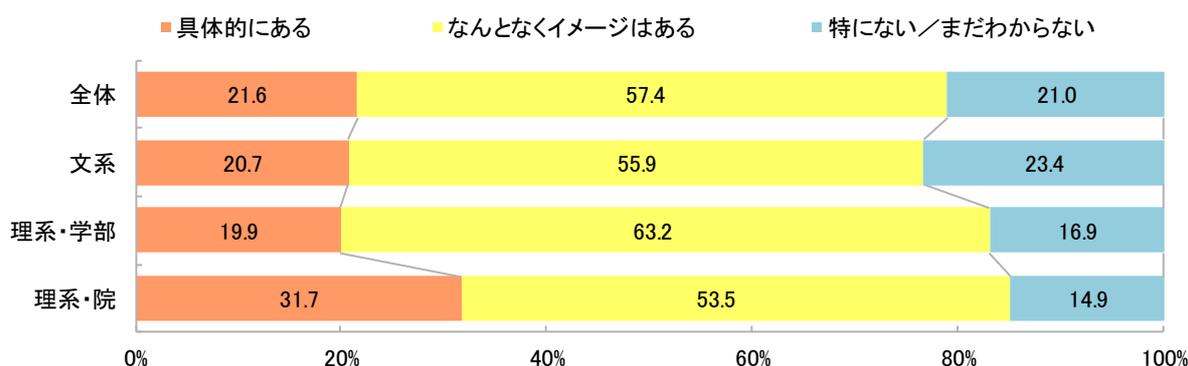


7. 現時点で興味のある仕事・業界

大学3年生(修士1年生)の6月下旬時点で、興味のある仕事や、やりたい仕事があるのかを尋ねた。「なんとなくイメージはある」が過半数を占め(57.4%)、「具体的にある」は2割程度にとどまった。現段階ではやりたい仕事明確になっていない学生が大半であり、これから志望を固めていくためにも、インターンシップ等に積極的に参加したいと考えているのだろう。

属性別に見ると、文系より理系で、仕事のイメージを持っている学生が多い。特に理系・院生では「具体的にある」が3割に上り(31.7%)、他の属性に比べ10ポイント以上高い。

<現時点で興味のある仕事・やりたい仕事の有無>



現時点で興味のある業界を、10分類の中から3つまで選んでもらった。最も多いのは「メーカー」(57.2%)で、いずれの属性でも一番多い。特に理系でポイントが高く、学部生で67.5%、院生では約9割と突出している(88.4%)。理系の次点は、学部生・院生ともに「IT・情報処理」(31.3%、29.5%)。文系は「サービス業」(46.4%)、「商社」(29.2%)の順だが、比較的分散している。

<現時点で興味がある・働いてみたいと思う業界>

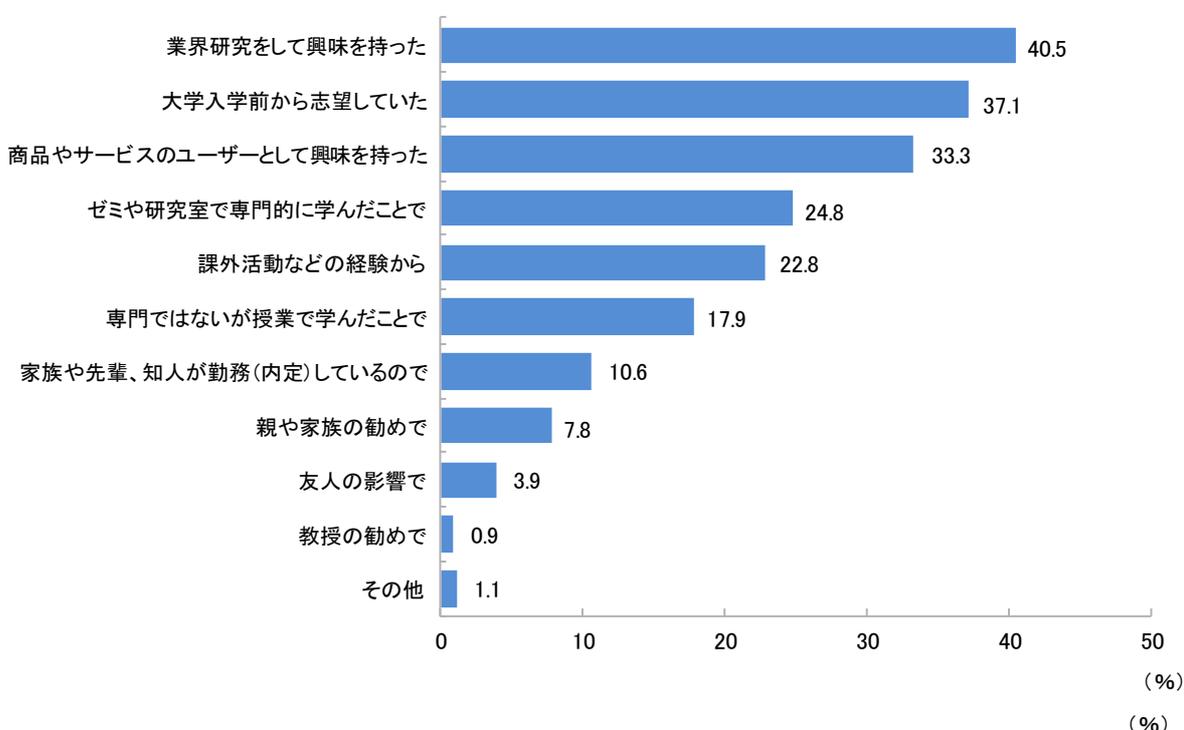
		※3つまで選択 (%)			
	全体	文系	理系・学部	理系・院	
1	メーカー 57.2	メーカー 48.7	メーカー 67.5	メーカー 88.4	
2	サービス業 36.5	サービス業 46.4	IT・情報処理 31.3	IT・情報処理 29.5	
3	情報(通信・マスコミ) 23.1	商社 29.2	官公庁・団体 20.4	エネルギー 22.1	
4	商社 22.9	情報(通信・マスコミ) 25.9	情報(通信・マスコミ) 20.0	官公庁・団体 18.9	
5	IT・情報処理 22.5	金融 25.9	サービス業 18.3	サービス業 15.8	
6	官公庁・団体 19.7	官公庁・団体 19.6	エネルギー 16.7	情報(通信・マスコミ) 12.6	
	金融 19.7	IT・情報処理 18.2	商社 13.3	金融 6.3	
8	エネルギー 8.8	流通 10.3	金融 8.8	商社 5.3	
9	流通 8.4	運輸・倉庫 8.6	流通 5.8	運輸・倉庫 5.3	
10	運輸・倉庫 7.0	エネルギー 3.9	運輸・倉庫 3.3	流通 2.1	

8. 興味を持ったきっかけ

現時点で興味のある仕事や業界について、そのきっかけを尋ねた。最も多いのは「業界研究をして興味を持った」で約4割（40.5%）。すでに業界研究を始めた学生が少なくないことがわかる。次いで「大学入学前から志望していた」（37.1%）、「商品やサービスのユーザーとして興味を持った」（33.3%）が3割台で続く。

属性別で差が見られ、文系では「業界研究をして興味を持った」（45.0%）が最も多い。理系では「大学入学前から志望していた」が4割を超える（学部生46.1%、院生42.7%）。理系・院生では、「ゼミや研究室で専門的に学んだことで」が約7割（69.8%）に上り、より具体的な研究内容や専門性を生かした就職を考える学生が多いことがわかる。

＜その仕事・業界に興味を持ったきっかけ＞



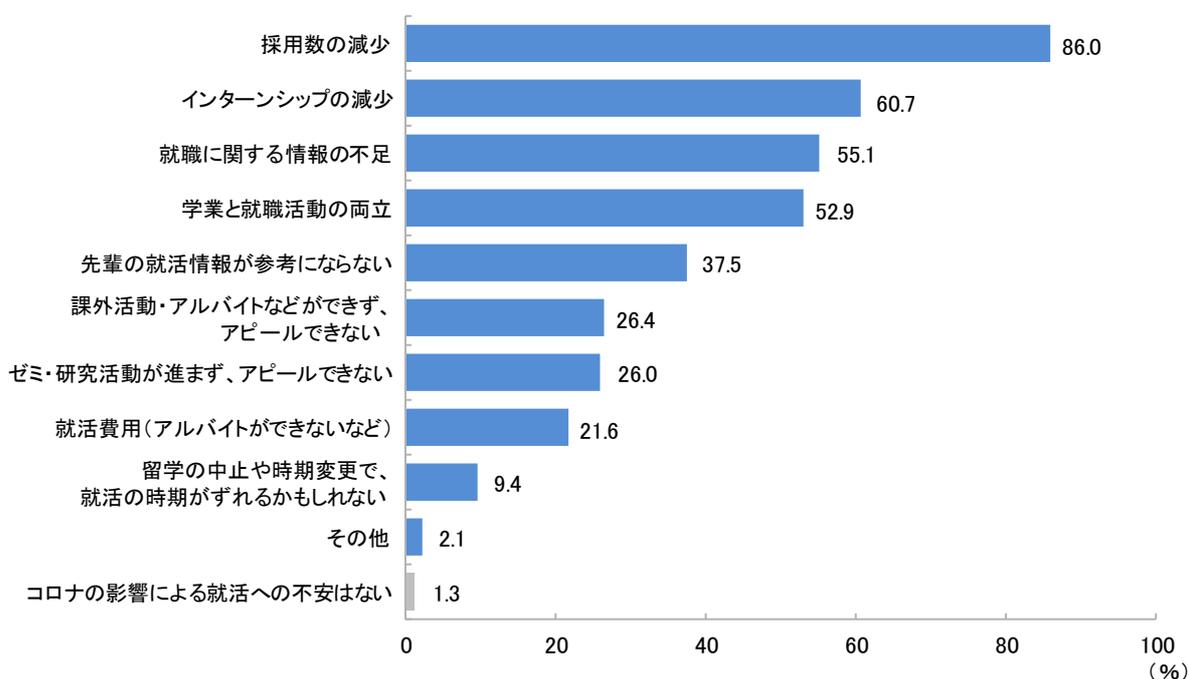
	全体	文系	理系・学部	理系・院
1 業界研究をして興味を持った	40.5	45.0	29.5	38.5
2 大学入学前から志望していた	37.1	32.9	46.1	42.7
3 商品やサービスのユーザーとして興味を持った	33.3	37.1	28.2	20.8
4 ゼミや研究室で専門的に学んだことで	24.8	17.9	24.9	69.8
5 課外活動などの経験から	22.8	25.8	18.3	14.6
6 専門ではないが授業で学んだことで	17.9	14.6	29.0	11.5
7 家族や先輩、知人が勤務(内定)している	10.6	11.5	7.1	13.5
8 親や家族の勧めで	7.8	8.5	7.5	4.2
9 友人の影響で	3.9	3.9	2.5	7.3
10 教授の勧めで	0.9	0.6	1.7	1.0
11 その他	1.1	1.4	0.8	0.0

9. コロナ禍の就活に対する不安

今後コロナ禍で就職活動を行っていくことへの不安について尋ねた。最も多いのは「採用数の減少」(86.0%)。8割強に上り圧倒的に多い。次いで「インターンシップの減少」が約6割(60.7%)、「就職に関する情報の不足」(55.1%)、「学業と就職活動の両立」(52.9%)までが半数を超えており、様々な不安を抱えている学生が多いことが読み取れる。「不安はない」はわずか1.3%にとどまる。

具体的には、志望業界の採用規模の縮小などに加え、大学構内への立入制限で、キャリアセンターや先輩・友人から情報を得ることができないことへの不安の声が挙がった。また、夏季休暇期間の短縮などにより、就活準備に割ける時間が少なくなることへの懸念も見られた。

＜コロナ禍の就活について不安なこと＞



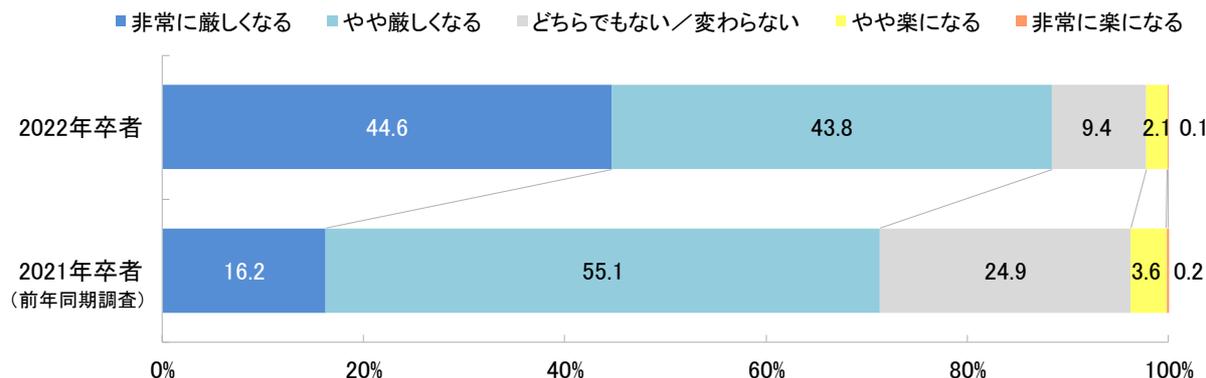
■具体的な不安

- 就職ガイダンスが中止になってしまって、何から手をつければいいのかわからず不安です。 <文系女子>
- これまでの先輩方の就活スケジュールを参考にできないところや、採用人数が大幅に減少してどこにも就職できないのではないかとこのところが不安です。 <文系男子>
- コロナの影響で、自分が志望する業界の採用が減ってしまうことが不安です。 <文系女子>
- インターンシップが実際に行われるのか、少し不安があります。 <文系女子>
- インターンシップを開催する企業の、コロナウイルスの感染予防対策がしっかりされているのかが気になる。 <理系男子>
- サークルで中心的に動ける立場になったが、コロナの影響で活動がなく、企業にアピールできることが少ない。 <文系女子>
- 友達や先輩と意見交換ができない。 <理系男子>
- オンライン授業になったため、課題が多く、就活に割く時間が少ないこと。 <文系女子>
- TOEIC や情報・技術系の資格試験が実施されるのかが不明な点。 <理系女子>

10. 就職戦線の見方

自分たちの就職戦線が1学年上の先輩たち(2021年卒者)に比べてどのようになると見ているのか、その見通しを尋ねた。「非常に厳しくなる」(44.6%)、「やや厳しくなる」(43.8%)を合わせると、9割近くに上る(計88.4%)。前年同期調査と比べると、「非常に厳しくなる」が約30ポイント増加しているのが目立つ(16.2%→44.6%)。こうした危機感の強さが、早期からの就職活動準備につながっていると考えられる。

<就職戦線の見方>



「厳しくなる」と見る理由

- コロナによって経済が冷え切って就職氷河期が来ると思う。 <文系男子>
- コロナがまだ収束しておらず、インターンシップも対面で行われることが少なくなると、企業のことを深く知ることができなくなるから。 <理系男子>
- 実際にインターンが中止になったり、目処が立っていない企業が多く、本選考も行う企業が減れば、1つの企業への倍率も高まるから厳しくなると思う。 <文系女子>
- 今年は就活浪人が増えそうなので、それが僕たちの世代に流れ込んできそう。 <理系男子>

「変わらない」と見る理由

- 2021年卒の方たちも厳しくなっていると聞いているから、同じくらいかと思っている。 <理系女子>
- ほとんどの企業が、WEBセミナーなどで情報発信を積極的に行っているから。 <理系男子>
- 自分の志望する業界はコロナの影響が出にくいから。 <文系男子>
- 2021年卒業の先輩たちは、急にオンラインへの対策などに追われていると思いますが、私達はまだ準備をする時間があるので、早めの対応がカギになると思います。 <理系女子>

■就職活動について思うこと

- 積極的にインターンシップに参加して、どのようなものかを早く体験してみたい。そこからどのような企業に就職するか絞っていこうと思っている。 <文系男子>
- あまり人に会えない状況だが、乗り遅れないようにしたい。 <理系男子>
- WEB合説などには参加しているが、家での活動のため、就活という実感やイメージがまったくわかりません。 <文系男子>
- 不安から、多くの情報を得ようとして、すでに就活疲れをしまっている気がする。 <文系女子>
- コロナで不安はありますが、全力で頑張ります。 <文系男子>